

No. 34

新年度特別号

令和7年
2025・4・1



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

新年度あいさつ

所長 佐川 正城

コロナ禍から日常が戻り、「ひたちシネマ」や「キッズシアター」を始め、交流センターでの上映会が活発となり、利用率も回復し明るさが戻ってきました。新たに令和7年度を迎えることができましたことに改めて感謝申し上げます。

AI時代に突入し、何が「真」か「偽」かを主体的にかぎ分ける直観力と情報活用能力とが求められる年となりそうです。本年度もまた、皆様のご支援により使命を果たせるよう努めますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

新たなスタート

特集

記念図書館と一体になった映像文化の推進

参考資料：『35年の道程 ―視聴覚ライブラリーから視聴覚センターへ―』平成4年(1992) 荒川隼人・見城秀男

当センターは、DVDなどの映像教材やプロジェクターなどの機材の活用をととして、生涯学習や学校教育、文化活動を支援する教育施設です。

今年度から、当センターは、記念図書館と組織をより一体化させた効率的な運営を図っていきます。

これまでの歴史をさかのぼると、昭和16年に誕生した日立市の市制施行20周年記念事業のひとつとして、記念図書館(神峰町)が、昭和37年(1962)に設立されました。

同時に、当センターの前身となる「日立市視聴覚ライブラリー」が館内に併設され、学校や社会教育の学習を支援するための視聴覚教育の一翼を担うことになりました。

さらに、同56年(1981)に、「日立市視聴覚センター」(末広町)が教育会館内に独立オープンすることで、これまで、40年間の教育活動を展開してきました。

平成23年(2011)には、日立シビックセンター(幸町)に移転し、多くの皆様にご活用いただいております。

この間、少子高齢社会が進行し、SNS(交流サイト)とともに、デジタル高度情報通信社会の急速な進展により、いつでも、どこでも、だれとでも居ながらにして、情報の受

信や発信が可能となります。情報環境の変化に応じて、当センターの役割も変化することになりました。



視聴覚資料室(視聴覚ライブラリー)があった記念図書館(現在の日立市教育プラザ) 昭和37年の記録写真

将来、子どもたちがAI時代においても迷うことなく、「生きぬく力」を身につけるため、学校教育では、一人1台のタブレット活用による情報リテラシー(活用能力)の向上を目標に取り組んでいます。

以前と比べ、小中学校における教材利用件数は減っていますが、保育園や幼稚園では映像を利用した学びは活発です。

人生100年時代において、映像文化を活用しての名画鑑賞会は、地域活性化の方策の一つとして、必要不可欠な取組であると考え、本センターの存在意義は大きいと思います。

今後もなお一層、手厚く相談に応じ、上映会などをサポートしていきますので、お気軽に声をおかけください。

令和7年4月1日(火曜日)から、視聴覚センターの休館日を変更します。

毎週月曜日は、休館となります。

月曜日が祝日の場合は、翌日が休館となります。

●令和6年度新収蔵DVD作品

はなかつぱのぼうさいくんれん

「おかしもち」でいのちをまもろう

※幼児・小学生(低学年)向け

公開：2024年 時間：14分

貸出番号：1201311

子どもたちに大人気のはなかつぱが登場する防災アニメ教材。

「おかしもち」を合言葉に、地震が発生した時にはどのように行動をとればよいか、一緒に学ぶことができます。

監修：公益財団法人市民防災研究所
原作・キャラクター原案：あきやまだし

今月の
オススメ
小林

